

～よりよい家庭学習の習慣づくりのために～

毎日 分以上
集中して本気で取り組もう

学習時間のめやす(学年)×(10分以上)

※ 次の順番で、手順よく家庭学習や次の日の準備を進めましょう。

1 プリントを渡す

お家の人に、学校からのプリント類を渡します。

2 宿題・明日の予定を確認

時間割やメモなどで宿題や明日の予定を確認めます。

3 家庭での学習に取り組む

① 宿題に取り組む

先生が出す大切な学習です。

② 家庭学習に取り組む

自分で考える自主的な学習です。

4 明日の学習用具をそろえる

【お家の方へお願いしたいこと】

- ①「家庭学習中はテレビを消す」「勉強をする場所を整理整頓する」など子どもたちが集中して取り組める環境づくり
- ②やる気を高める家族のあたたかい助言や励ましの言葉
- ③宿題を点検したりするなどの手助けから、徐々に自分でできるような細やかな支援



学習に集中するための
3つの約束

- ①「～ながら学習」はしません。
～を見ながら ～を聞きながら
～を食べながら ～を飲みながら
をがまんして集中します。
- ②机の上を整理します。
- ③文字をていねいに正しく書きます。

【家庭学習のヒント】

- 教科書の復習や予習
 - テストに備えた学習
 - 読書や音読
 - ドリル学習(漢字、計算など)
 - 日記・作文
 - 調べ学習(興味のあること、くわしく知りたいこと)
 - 創作活動(物語や詩など)
- ※その他 先生に相談してみましょう。



これで明日の準備はバッチリです！

釧路市立清明小学校 家庭学習リーフレット

発達段階に応じたポイント

1・2年生 (家庭学習を習慣にしましょう)	3・4年生 (自分の学び方を見つけましょう)	5・6年生 (計画性・主体性をもちましょう)
①決まった場所や時間に学習ができる環境で10～20分以上する。 ②何の勉強をするのか自分で決めることができる。 ③家の人とかかわりながら宿題や自主学習をやり遂げることができる。 ④プリント以外にノートを使った学習の仕方を知る。	①決まった場所や時間に学習ができる環境で30分～40分以上する。 ②学習の計画を立て、めあてをもって取り組んだり振り返ったりすることができる。 ③自分で答え合わせをし、やり直しができる。 ④ノートの使い方を工夫し、わかりやすくまとめる。	①決まった場所や時間に学習ができる環境で50分～60分以上する。 ②学習内容にあった計画を立て、自分から進んで苦手な教科にも取り組む。 ③目標を決め、復習と予習を効果的に組み合わせて学習する。 ④ノートの使い方を工夫し、ポイントをまとめる。

家庭学習Q & A



Q1 家庭学習への意欲をもたせるには？

まずは習慣をつけることが第一。はじめから意欲を期待するのではなく、学習習慣をつけることが大事です。決まった時間、場所を決めて行うようにしましょう。学習に集中できる雰囲気作りも意欲につながります。家庭学習を子どもとふれあう大切な時間(または話題)にすることもやる気をひき出します。



Q2 何をやったらよいのかわからないときは？

「今日勉強したことで難しかったことや「楽しかったことは何？」など、思い出させるような言葉かけをしてみましょう。そこから「わからなかったところやまちがいが多かったところをもう一度復習しよう。」「もっと調べてみよう。」「などめあてをもつようになると思います。手引きを参考にするのもよいでしょう。」



Q3 本を好きにさせるには？

低学年なら、膝にのせるなどスキンシップしながら、読み聞かせ。ぬくもりが安心感につながります。中高学年になったら、大人も子どもも本を読み、話題にすると効果的です。



Q4 計算力をつけるには？

とにかく毎日続けて練習することがポイントです。大事なことは「正確さ」です。そのためにはノートのマス目を意識する丁寧さが必要です。正確にできるようになったら「速さ」を意識させましょう。



Q5 応用力をつけるには？

「文章題が苦手」という子どもは、問われている内容をイメージできていないことが多いです。まずは、文を理解するために、わかっていることや聞かれていることをはっきりさせることから始めます。そして、物や図をつかって解いてみましょう。多様な問題を解くのもよいでしょう。



Q6 ノートの使い方は？

まずは、その日の日付と勉強することを書きません。文字は丁寧に書くことで勉強したことが身に付きやすくなり、充実感も味わえます。また、めあてとなることや振り返りもきちんと書くようになります。そうすることによって、自分のためという自覚を持って学習することができるようになります。